

○ 委員長報告

1 2月定例会本会議で報告された経済企業委員長報告は、以下のとおりです。

令和3年12月定例会

経済企業委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、第3弾えひめ版応援金についてであります。

このことについて一部の委員から、実施する理由と、迅速な支給にどう取り組んでいくのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、多くの事業者が長引くコロナ禍で売上げが減少する中、無利子融資の返済が本格化するなど、厳しい状況にあることから、年末年始の資金繰りを支援し、中小事業者等の経営の下支えを図るため、国の経済対策に先駆けて、県単事業として第3弾えひめ版応援金を支給したいと考えている。

支給事務については、各市町で3回目のワクチン接種など、業務が増大していることから、今回は県が行い、また、事業者に速やかに支給するため、予算成立を前提として審査・支給を行う委託業者の選定を現在進めており、議決後直ちに申請受付を開始するとともに、コールセンターも立ち上げ、2月末までに全ての支給を完了させるよう準備している旨の答弁がありました。

第2点は、コロナ禍で厳しい状況にある酒蔵の支援についてであります。

このことについて一部の委員から、売上が減少した県内酒蔵に、どのような支援を行っているのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、令和2年の県内酒蔵の売上げは、コロナの感染拡大による飲食店への酒類提供の自粛要請等の影響もあり、コロナ前の平成30年に比べ約27%減少するなど業績が悪化しており、当面の経営下支えとアフターコロナも見据えた需要喚起に取り組むことが重要と考えている。

このため県では、えひめ版応援金による酒蔵の経営下支えに努めるとともに、余剰在庫の解消や販売促進に向け、地酒の家飲みを応援する特設コーナーをスーパー等に設置し、抽選で愛媛の酒をプレゼントするキャンペーンを12月1日から開始したほか、蔵人の思いなどを紹介するPR動画を作成しSNS等で発信するなど、幅広い層への認知度向上を図り、県内酒蔵の持続的な発展を支

援したい旨の答弁がありました。

第3点は、県立病院における3回目の新型コロナワクチン接種への対応についてであります。

このことについて一部の委員から、今月から、医療従事者の接種が始まっているが、県立病院における3回目接種への取組状況はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、3回目の接種は、原則として2回目の接種から8か月経過した者が対象となっており、現在、各市町から対象者に対し、順次、接種券が発送されているところである。

県立病院では、体制が整ったところからできるだけ早く自院の職員への接種を開始することとしており、まず県立中央病院において、今月13日から接種を始めることとしている。

また、1月からは高齢者向けの接種が始まる見通しであり、市町から集団接種への協力依頼があれば、県立病院の医師・看護師等の派遣について、できる限り協力していきたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・愛顔の安心飲食店認証制度の状況
- ・コロナ禍における労働相談の状況
- ・肱川発電所更新工事の進捗状況
- ・県立病院における医師の充足状況

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。